平成２９年度第１回宇陀市総合教育会議　議事録

開催日時：平成２９年７月２１日（金）　午後２時～午後３時３９分	
開催場所：宇陀市役所３階　庁議室	
構成員出席者	竹内幹郎宇陀市長 福田裕光教育長 寺澤亮一教育委員　岡本憲明教育委員　巽礼子教育委員　吉川壽一教育委員
説明者	中西教育委員会事務局長 出山総務課長　藤田教育総務課長 太田主幹　小松原教育指導主事　鈴口教育指導主事
協議事項	幼稚園の適正配置について
議 事 （ 発 言 内 容 等 ）	
市　長	本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。 今回の議題は、「幼稚園の適正配置について」です。教育環境を整えていくことは大きな政策課題ですし、子どもたちが少なくなっているという状況では避けては通れない道ではないかと思っています。心身ともに健全な子どもたちを育むため、より良い教育環境を整えていきたいと思います。 また、この２７日に宇陀市子ども議会を開催しまして、子どもたちの一般質問を受けることになっています。素直な意見が多数あり、子どもたちの将来に向けてしっかり対応していきたいと考えています。 それでは、協議事項の「幼稚園の適正配置について」説明をお願いします。
教育総務課長、主幹及び教育指導主事	＜幼稚園の適正配置について説明＞ ・榛原西幼稚園、榛原幼稚園及び榛原東幼稚園の位置、面積、定員 ・榛原地域の幼稚園・保育所の在園児数の推移及び今後の予測 ・少人数による学習環境、人間関係、園等の運営のメリット、デメリットについて ・榛原地域の幼稚園の統合、こども園設置計画（園数は未定）モデル案について モデルＡ案　榛原西幼稚園を榛原幼稚園に統合し、次段階として全幼稚園・保育所をこども園へ統合 モデルＢ案　段階を経ずに全幼稚園・保育所をこども園へ統合
市長	現状は説明いただいたとおりです。幼稚園も校舎自体が老朽化していますし、子どもたちの一番大事な幼少期に１０人以下の少人数学級はどうなのかという意見もあります。 資料の５頁にありますように、平成３３年度頃には榛原地域の中で幼稚園、保育所が１校か２校になれば良いなという希望もあり、一定の方向を検討していますが、設置場所をどこにするか等、具体的な方針がなかなか出せない状況です。 また、中学校については、４校を維持する必要があるかなと思っておりますが、一方で将来的に２校にすることを協議していき、その後に１校にすることも考えていく必要があるのではと感じています。中学校をどうするかによって、幼稚園等の方針が決まると考えています。 昨年の出生数は１４３人であり、この数字が市の方向性をはっきりと示しています。そろそろ減少にも歯止めがかかるかなと思っていますが、都市部へ人口が集中する状況が続く中では、まだまだ分かりません。

寺澤委員	適正配置に当たっては、最終的には何を優先していくのかという議論になるのではないかと思います。 私個人としましては、榛原西幼稚園の子どもたちの人数では、社会性とかたくましさとかを育むには少なすぎるように感じます。そうした面においては大所帯で育った方が良いと考えます。それは、第１優先順位になることではないでしょうか。 榛原地域には小学校が２つありますから、２校で当分の間実施することも良いと思います。仮に、こども園に統合したとしても、小学校においてそれぞれ分かれてしまうのはどうなのか、という懸念は先の課題だと思います。 一番気になるのは、榛原北保育園の設備的あるいは環境的な条件です。菟田野保育所も小さいし古いけれども、あちらの方が条件的には優位に感じます。榛原北保育園は給食室の問題など、早急に対応しなければならないことが山積しているように思います。幼稚園の統合ということですが、榛原北保育園の問題をこども園への統合まで放っておくことは許されないような状況だと思います。
市長	資料に榛原北保育園は入っていないのか。
教育総務課長	在園児の推移等には含まれていますが、基本的には幼稚園だけです。
巽委員	榛原西幼稚園の保護者は、在園している子どもが減っていることは認識しておられますが、いわゆる地元の方々がこれだけ地元の子どもたちが減っているという認識がまだまだ薄いように感じます。入園式、卒園式に出席されてびっくりしたというのが実情だと思います。保護者だけではなく、一般の方々にも人口減少の問題を認識してもらえたらと思います。 次に、榛原西幼稚園の子どもたちの様子については、第１子の子どもを預けられる保護者はきめ細やかな対応に安心されていますが、子どもたちの３年間の成長という点で見ると、４歳児後半から５歳児になってくると集団の力で伸びるという点が弱くなり、５歳児において他の幼稚園と比べ人数が少ないというのはデメリットが大きいかなと感じます。ただ、現在は榛原西小学校の温かい雰囲気の中で、小学校と行事、人の交流・連携もありますので、そこまで深刻には感じられていないかもしれません。今後、もっと規模の大きい中学校に進むに当たっては、今の人数ではデメリットの方が大きいと感じました。 それから、モデル案については、こども園の設置等を念頭に何箇年かの計画を立てていただいていることはありがたいなと思います。１０年後を見据えて考えていかないといけないと思いますし、子どもの数が減少しても就学前教育については大事にしてほしいと思います。モデル案の中でしたら、モデルＢ案の段階を経ずに全ての幼稚園・保育所をこども園へ統合するよりも、榛原西幼稚園を榛原幼稚園に統合し、１段階おいて、ある程度の人数になれた上でこども園にみんなで一緒に行くというモデルＡ案の方が良いかなと思います。
岡本委員	毎年、学校訪問をさせていただいて各幼稚園を巡回していますが、先ほど巽委員がおっしゃられたように、年齢が上がるほど、榛原西幼稚園と他のこども園、幼稚園とでは明らかに違う面が出てきています。 また、建物の老朽化、対応年数がとても心配です。せっかく宇陀市で育ち、幼稚園に通っていただいているのに、同じ宇陀市の子ども同士で育つ環境がこうも違うのはどうなのかと感じました。５年後、１０年後という考え方もありますが、年々子どもたちが成長していく中で、早急にこの問題は解決しなければならないのではないかと感じています。榛原北保育園の給食室の話もありましたが、早急に改善すべき点は早

	く取り掛かっていただきたいと思います。
寺澤委員	資料５頁のモデルＡ案の方が良いと思います。 それから、小学校の話は出てきていませんが、近い将来の榛原西小学校の人数が気になっています。モデルＡ案の方が小学校の政策的展開が必要になった時に市民の皆さんの合意形成が得やすいのではないかと思います。今年４月に配布された資料を見ますと、榛原西小学校の１年生が８人、２年生が１０人、３年生が２１人、４年生が２４人ですので、３、４年後のことも想定しておかなければなりません。
市長	小学校のこともイメージしておく必要があります。 宿泊施設の誘致を近鉄榛原駅の北側にしましたので、駅の北側にまちづくりが集中します。次は、南側のまちづくりをと考えています。場所の選定が非常に難しいですが、将来的に保育所を総合こども園にして２園体制にできたらと思っています。榛原駅の北に民間の保育園と市のこども園があって、南にも市のこども園があったら良いなと考えています。 与えられた環境の中で、日を区切って進めていきたいと考えています。
吉川委員	資料を見ていたら統合というのは避けては通れないと思います。ただし、「適正配置」という言葉を使うならば、行政の都合、一方的な条件だけではなく、保護者の意見を聴いて、環境整備の実施や、この様なメリットもある等の理解を得た上で配置を検討してください。 また、寺澤委員もおっしゃられたようにモデルＡ案の方が良いと思いますが、室生地域では、笠間保育所から大野保育所になって、また、室生こども園に統合になってと、数年で統合を繰り返したため、保護者からその様な説明はなかった等と苦情が上がりましたので、短期間で統合する場合にはその辺りに気を付けていただきたいと思います。
市長	設備の老朽化の問題は検討させていただきます。榛原北保育園の状況はどのようになっていますか。
教育総務課長	榛原北保育園は昭和５４年に建てられています。
市長	何年先にこども園２園体制でいくのか、１園体制でいくのかは検討していかなければならないと考えています。
教育長	榛原地域の幼稚園と榛原北保育園の在園児のバランスを比較すると、だいたい半々くらいで幼稚園と保育所のニーズがあると思われます。今後は、こども園というイメージをしっかりと作っていき、幼保一元化の長所を活かした上で、開園時間等の幅も拡げていければもっと利用していただけるのかなと考えています。 また、モデルＡ案で榛原西幼稚園と榛原幼稚園を統合して２園と榛原北保育園になりますが、まず榛原北保育園と幼稚園を統合して、榛原東幼稚園を後から統合するという案もあるのかなと考えています。幅広く検討を重ねながら、保護者への啓発、榛原幼稚園となれば通園バスの停車位置などの問題もありますので、１つ１つ壁を乗り越えて大きな方向性を見出していければと思います。
市長	それでは、引き続き教育委員会事務局において将来の構成についてシュミレーションしてください。榛原北保育園の給食室については、実情を確認して判断したいと思います。 それでは、次に報告事項の「宇陀市いじめ防止基本方針について」説明をお願いします。

教育指導主事	＜宇陀市いじめ防止基本方針について報告＞ ・いじめ防止基本方針の策定の経緯、概要について ・宇陀市いじめ防止基本方針案について 　いじめ防止等のために市が実施する施策 　いじめ防止等のために学校、家庭、地域、関係機関等が実施する取組 　重大事態への対処
寺澤委員	基本方針案も市のホームページで公開される予定ですか。中学校の教科書の優しさ、難しさを基本に、中学生が読んでわかる文体、文章、表現を心がけて文章を作ってほしいと思います。
市長	具体的にどのような点ですか。
寺澤委員	具体的ないじめの態様例の、冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる箇所では、「不快に感じるあだなをつけ、しつこく言われる」は、「あだなをつけられてしつこく言われる」が正しいのではないでしょうか。 　批判的に読み直して、きっちりとした文章で出して欲しいと思います。
市長	再点検し、読み合わせもしてください。
寺澤委員	文章と話すことは異なりますので注意して表現してください。
岡本委員	いじめられている子がいじめられていることを言いやすい方法をもっと具体的に考えて、いじめられている子が先生や親に相談しやすい環境を作ってあげてください。例えば、方法としてはアンケート調査がありますが、アンケートにも書けない子も多数いるので、子どもたちが言いやすい方法を考えてあげてほしいと思います。 　また、先生方が子どもたちの変化に気づき、いじめられていないかと声をかけるとありますが、先生方が気づくころには遅い可能性もあり、未然に防止する方法を考えていただけたらなと思います。
巽委員	学校現場の主に担当する先生方に中身を検討してもらって、実際にうまく流れていくかを確認されてはどうでしょうか。 　また、基本方針案１０頁の学校が実施する取組の中に、いじめ問題対策委員会を設置するとありますが、学校の組織に文言を入れている学校と、まだ入れていない学校があります。せっかく設置するのであれば、形だけにならないようにしてほしいと思います。
吉川委員	いじめ防止が大前提となりますので、他の市町村の取組も参考にして再検討していただきたいと思います。
市長	文章の起承転結をしっかりと整理していただき、中学校の生徒でも分かるようにしてください。
教育長	この調査委員会は、強制権がないので、事の重大さが分かっていながら調査委員会が行き詰まり、なかなか進捗できない事態になってしまうことがあると聞きます。難しい立場に立たされるケースが多く、他府県でも委員構成などについて遺族の要望や要求などが多数寄せられています。具体的に方針が動き出したときに、委員会の運営に色々と協力していただければと思います。
寺澤委員	最初のボタンの掛け合いが重要です。
市長	その一言に尽きると思います。その様な局面になったときは、組織の能力を問われるので日ごろから研鑽してください。 　それでは、次の報告事項「宇陀市教育大綱にかかる事業実施概況について」説明をお願いします。
教育総務課長	＜宇陀市教育大綱にかかる事業実施概況について報告＞

	・宇陀市教育大綱の５つの基本方針に係る事業の概要・取組内容・行程、平成２７年度を基準とした評価、指標から見た現状と課題、今年度の取組について ・事業実施概況に基づき平成２９年度の教育委員会の事業を実施し、事業の評価に繋げる
寺澤委員	事業の行程において「実施」という言葉が多く出てきますが、予算執行、実施回数、参加人数などが記載できると思います。予算執行や、実施回数、参加人数など、効果を見定めて読み取れる方が市民にとって親切です。
岡本委員	毎年評価を記載していくことになるとは思いますが、実施状況についてはどこかで学校の先生方に発表されますか。
教育総務課長	校長を通じまして、各学校に問題点、研究、改善の方向等を伝えていきたいと思っています。また、毎年度作成していきますので、本年度は初年度ですが、平成３０年度には昨年度の予算執行状況が分かるように記入していきます。
教育長	例年、教育に関する事務の管理と教育委員会の事業を学校評議員に点検していただき、市議会、市長に報告させていただいています。今後は、それと一緒に市のホームページなどに掲載して、市民の方々に見ていただきたいと思っています。
岡本委員	最終目標は生徒、児童の成績を上げるためですので、作成しただけではなく、積極的に公表してください。
教育総務課長	この資料は、事業をこのように実施していますという内容であり、結果については別の資料となります。
吉川委員	事業実施概況２０頁のいじめ問題等に対する今年度の取り組みのところは、評価の悪いことについては、積極的に今後の取組みを挙げた方が良いと思います。目標が達成できていないことについては、より具体的な目標、取組み、対策を立てて、各先生、各学校に周知した方がより分かりやすくなるのではないかと思います。 社会が特に関心のある事項であり、市のホームページに掲載すると、宇陀市はいじめ問題等に対してどのように取り組んでいるのか等、宇陀市を参考にする他の市町村が出てくるかもしれません。宇陀市の取組みを全国に発信する良い機会だと思います。
教育総務課長	全体的に評価の悪い所については、対応策を記載するようにしていきたいと思います。
市長	色々な問題について、警察に相談するようなことはありますか。
中西局長	あります。内容により相談をしています。
寺澤委員	目標が全国平均とされていても、全国平均は一体どのような数字なのか分かりません。基準値、現状値等はどこかに注釈を入れるべきだと思います。
教育総務課長	注釈等を設けます。
市長	各学校に実施概況を報告するときは、学校ごとの成績を明記した資料とするのでしょうか。そうしていかなければ、各校長も意識が向上しないと思います。
教育長	この資料は市全体を対象として作成しています。各校においては、各校ごとの資料を設けています。
寺澤委員	刺激を上手に与える工夫をしていますが、実行できていない。
教育長	地域で土曜塾などをやっていだたくのはどうでしょうか。
市長	そうしていただければ、ありがたいと思います。みんなで小さな事から向き合って本気にならないと響いていかないと思います。 それでは、学校ごとに詳細な対応をしていただき、子どもたちの成績をあげるため、教育環境を整えるため、積極的に公表していくということでお願いします。

	これで議事を終わりますが、他にご意見はございますか。
総務課長	次回の会議の開催次期については、追って調整させていただきます。
市長	それでは、本日はこれで終了します。